



さわやかな風がふき、新緑のきれいな季節となりました。新入したお友だちもようやく園での生活に慣れてきて、園内のあちこちに興味を示しています。

園庭では幼児の年長児が制作した大きなこいのぼりが泳いでいます。小さなクラスの子どもたちは指差して、何かいるー！と教えてくれます。

“こいのぼりだね、大きいね～”と会話があちこちで聞こえます。さわやかな風とこいのぼり、一年に一度の風物詩としても子ども時代を懐かしく思い出してくれることでしょう。

